

★ ★ 国際交流 ナイスショット ★ ★

楽しく和やかに

日伯GB親善中津川大会

昨年の十月二十四日、市内本町公園コートでゲートボールを通じて国際親善を深めようと、ブラジル中津川親善G・B大会実行委員会主催、中津川市・姉妹都市友好推進協会・市老人クラブ連合会共催によって、ブラジル・中津川親善ゲートボール大会が盛大に行われ、友好の絆を一層深めることができました。



①



②

- ① 国旗を先頭に入場するブラジルチームのみなさん
- ② 森豊団長(左)からレジストロ市長のメッセージを受ける小林房吉市長
- ③ 各コートとも熱の入った試合が続き、大会を盛りあげました
- ④ 熱戦を終えて……上田晋大会実行委員長から表彰を受けるブラジルチームのみなさん



③



④

当日は快晴、絶好のゲートボール日和に恵まれて、楽しく和やかな雰囲気の中でゲームが進められました。

遠い国からようこそ

これは、六十三年八月にブラジルで開かれた第三回世界ゲートボール選手権大会に本市からも、県代表チームの一員として参加した際、今度はぜひ中津川で試合を」と話し合ったことや、本大会実行委員長の上田晋さんが数年前、ブラジルでゲートボール愛好者と交流指導したことが橋渡しとなりました。

記念メダルを交換

開会式は、ブラジル国旗を先頭から始まり、小林市長の歓迎のあいさつ、レジストロ市長からのメッセージの伝達、ブラジルチームへの花束贈呈、そして両チームのメダル交換などが行われ、国際親善大会にふさわしい開会式となりました。

白熱の試合を展開

試合は白熱した展開のもとで進められ、決勝戦はブラジルチーム同志の対戦となり、さすが前年の世界大会で優勝した実力と王者の貫録が見られました。

ちょうど、ブラジルチームが十月二十八日、名古屋で開かれた第四回世界選手権大会に参加するために来日されたのを機会に当市での開催となりました。

表彰式のと、同会場

で親善パーティーが開かれました。ゲートボールを通して結ばれた友情、和気あいの雰囲気なかで楽しい談笑がつかまりました。

最後に、両国の友好親善の促進を祈念して萬歳を三唱し、固い握手を交わしながら名古屋へ向わ

りました。

水害、お見舞い申し上げます

リベイラ河氾濫 レジストロ市大被害

一月二十四日受信の在伯岐阜県人会からの手紙で、昨年末から続く降雨により、リベイラ河が氾濫して、その流域のレジストロ市が甚大な被害を受け、非常事態を宣言されたとの便りがありました。市と姉妹都市友好推進協会では、早速モラエス・レジストロ市長あてに災害のお見舞いを行いました。

レジストロ市長から礼状

三月一日にレジストロ市長から次の災害見舞いの礼状が届きました。(訳文) 中津川市長 小林房吉様 協会会長 杉本英夫様 拝啓 隅田弘氏に託されたリベイラ・テ・イグアツペ河氾濫による当地の水害に対する貴殿よりのお見舞いの手紙を受け取りました。貴殿のご配慮に感謝の意を表します。水害は、当地に大きな被害をもたらした。多くの建物を破壊し、多大な社会問題を引き起こしておりますが、これらに対し、市民は一丸となって復旧に努力し、回復への見通しもたつて参りました。このような時、貴殿より送られた姉妹都市による、激励は苦境にある我市民にこの上ない力となりました。ご報告申し上げます。ご配慮に重ねて深く感謝申し上げます。 敬具

今年、ブラジル連邦共和国レジストロ市と中津川市が、姉妹都市提携を結んでから十年を迎えます。これを記念して、八月の夏まつりにレジストロ市長ら代表をお招きして、記念行事を開催する予定です。このため、四月十六日に森研一・中津川市消防長が市長名代として、レジストロ市を訪問し、市民グループとの交流を行いました。

レ市と姉妹都市提携 10周年の記念行事

レ市と姉妹都市提携 10周年の記念行事 招待期間 8月13日～17日 行事の内容 夏まつりの見物 市民グループとの交流

レ市と姉妹都市提携 10周年の記念行事 招待期間 8月13日～17日 行事の内容 夏まつりの見物 市民グループとの交流

ひと往来 ブラジルから

昨年、ブラジル各地からのお客さんが、中津川市にお見えになりました。皆さんは、小林房吉市

長や杉本英夫姉妹都市友好推進協会長を表敬訪問されて懇談し、市内見物などを楽しまれました。



小林市長や杉本会長と懇談する北川さん(中央)

食堂経営

北川 雄二さん 8月15日訪問

北川さんは、レジストロ市で食堂を経営しておられますが、このほど五



真剣な面もちで楢原先生の講義をうけるみなさん

和やかで充実した内容 ブラジルに親しむ講座

昨年十一月十日から十二月十六日までの間に、毎年、姉妹都市友好推進協会と中津公民館が共催で開いており、今回で七回目を迎えました。

講座には、第一回から受講生三人を含む二十九人の皆さんが参加し、日ごろは聞きなれないポルトガル語に、意欲的なチャレンジをされました。講師は前回に引き続き、東京在住の日系二世・三浦マリエさんにお願



三浦先生(左)と一緒に料理講習

ポルトガル語のほか、ブラジルの生活・歌・料理などの講座もあり、六日間がまたたく間に終わりました。今回は、三浦先生が仕事の都合で出席できなかった三日間は、サンパウロ出身で、昨年十月に三回目の訪日をされた三浦先生の友人、楢原フミ子さんが指導にあたりました。楢原先生は「最近のブラジルは厳しいインフレーションで、日常生活が大変です」とブラジルの現況を話していただきました。当日は、市内の企業へ研修に訪れているブラジルの方たち十人を招き、ブラジルの話を聞いたり、実際にポルトガル語の会話を体験するなど、和やかな雰囲気のうちに、閉講となりました。



「皆さん親切です」と清水さん

レジストロ市地方局長 清水 武さん 5月1日訪問

清水さんは、コチア聖トロ地域の評議員をされておられ、日本の農業協同組合の運営とお茶の栽培・加工について視察・調査するために訪日されました。

その折に、姉妹都市の本市を表敬訪問されたものです。

「日本は、経済が安定して生活に豊かさがみられます。また治安が良く、皆さんはとても親切ですね」と話しておられました。

ひと往来 ブラジルへ

みつちりと農場体験

阿木高生 奥村浩幸君

第十二回岐阜県農業高三年奥村浩幸君が、昨年七月十七日から八月十四日、一員として、阿木高校



開碑の前で記念写真をとる青年派遣団のみなさん

レジストロ市を訪問

岐伯青年親善交流派遣団

岐阜県では、第九回岐伯青年親善交流派遣団を、昨年八月十八日から三十

お二人は、サンパウロ市出身で、このほど来日したのを機会に、表敬に訪れました。

ゾーニャ・マリア・モンティロ・デ・ソウザさんとカチャ・ヴァリイ・シモンエス・ジラスさん 7月24日訪問



小林市長の歓迎をうけるお二人



市民ホールに姉妹都市コーナー

ブラジル農業の研修をしてきました。その体験の様子を八月二十九日、小林市長に報告しました。写真奥村君は、サンパウロ近郊で農場見学や体験実習をしましたが、広大な土地と機械化に非常に感動した。入植当時、農業に不向きといわれた土地を改良し、土地にあった作物にするなど厳しく話していました。

都市を提携している都市のモジグスクルゼス、サレゾポリス、カンピーナス、レジストロの各市で、それぞれ市長に表敬訪問をしてきました。レジストロ市長へは、小林市長からのメッセージを手渡していただきました。



蝶の民芸品や銅版で作った装飾品、レジストロの市街地や広大な茶畑、中津川記念公園の写真を展示した「姉妹都市コーナー」がこのほど、市役所一階の市民ホールにできました。写真

平成元年度のレポート

- 5月1日、2日 レジストロ市地方局長清水武氏が表敬訪問
- 5月31日 平成元年度協合理事会開催
- 7月24日 ブラジルサンパウロ出身の留學生ら二人が表敬訪問
- 7月17日、8月14日 岐阜県主催ブラジル実習派遣団として市立阿
- 8月15日 レジストロ市で日本食堂の経営者北川雄二氏が表敬訪問
- 9月26日 第九回岐伯青年親善交流派遣団で渡伯した、県青少年婦人課長山田正義氏他二人が訪問報告
- 10月24日 ブラジル
- 11月24日 レジストロ市へ水害見舞状を発送
- ・中津川市親善ゲートホール大会を開催(本町公園)
- 12月20日 市役所庁舎内市民ホールにレジストロ市紹介コーナーを設置
- 平成2年1月17日 リベイラ河の氾濫でレジストロ市が被害を受けたとの連絡
- 1月24日 レジストロ市へ水害見舞状を発送

平成2年度の会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。会費は個人 一口 千円、法人 一口 壹万円、団体 一口 五千元です。今年にはレジストロ市と提携して十周年となり、八月には記念行事を計画しております。これを機会に協会の活動を盛り上げ交流の拡大を図るため、一人でも多くの皆さんが加入してください。

申し込み用紙は、市役所秘書広報課及び各支所